

感染状況・医療提供体制の分析(11月24日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (11月17日時点)	現在の数値 (11月24日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	68人 (3.6人)	29人 (1.5人)	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり1.5人</u>と減少。接触歴不明者の割合も比較的少ない。しかし、感染伝播は継続。繁華街での夜間の滞留人口は増加傾向。今後、年末に向けて屋内での活動やイベントが増加するため、感染者が増えてくることが予想される。12月に3回目接種が始まるが、未接種者のワクチン接種推進や接種完了後の感染対策継続など、現在の取組みを維持することが重要である。</p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	19人 (28%)	6人 (21%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	41人	23人	→	
		県南西部	27人	4人	→	
		高梁・新見	0人	0人	→	
		真庭	0人	0人	→	
	市中潜在 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	12人	5人	
割合 (③/①)			18%	17%	→	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	38人 (7%)	23人 (4%)	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる</p>	
	⑤宿泊療養者数	16人	15人	→	<p>入院患者数、宿泊・自宅療養者数とも減少傾向。通常医療は引き続き安定的に維持・提供できている。</p>	
	⑥自宅療養者数	29人	24人	→		
	⑦重症者数	3人	1人	→		